



本市では、児童生徒が夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力を身に付け、変化の激しいこれからの社会を主体的・創造的に生き抜くことができるよう、学校・家庭・地域が一体となって教育の充実に取り組んでいます。

近年、学校を取り巻く環境は大きく変化していますが、特に新型コロナウイルス感染症の影響で、教育のデジタル化などが急速に進んでおり、本市では、そうした時代の変化に対応するため、さまざまな学校の改革に取り組み、新たな事業を進めています。

今回の特集では、その中から、来年4月に始まる「新しい3学期制」、ICT（情報通信技術を活用したコミュニケーション）を効果的に活用して進めていく「スマート・スクール・SASEBO 構想」、将来を見据えた新しい学校環境づくり「学校再編」などについてお知らせします。



3学期制が始まります

先生が子どもと向き合う時間を確保

春休みなど長期休業期間の日程を変更し、年間授業日数を5日増やすことで、子どもたちの学びの機会を保障し、先生が子どもと向き合う時間を確保します。

また、長期休業前後の授業時間の短縮によって、生活リズムの変化を緩やかにするなど、子どもたちがスムーズな学校生活を送ることができるように工夫します。

- 1 学期 始業式 4月7日、終業式 7月23日
- 2 学期 始業式 8月29日、終業式 12月24日
- 3 学期 始業式 1月8日、修了式 3月24日

通知表は3回に

2学期制で高い効果が確認できた保護者との面談を組み合わせることで、先生と保護者との間で子どもたちの状況を共有することができます。

行事の見直しなど教育課程を工夫

学期制の変更に合わせて、行事の見直しを行ったり、長期休業の有効活用を検討したりするなど、各学校や子どもたちの実情に合わせた改善を行っていきます。

できています。本市の学校も時代の変革に合わせて、変えるべきところは大胆に変えていきたいと考えています。

一方で、さまざまな理由で学校に行くことが苦手な子どもたちもいます。そのような子どもたちにも丁寧に寄り添いながら、1人の子どもも取り残すことなく、新しい未来に送り届けたいと願っています。

もちろん、制度だけを変えてもうまくいきません。学校（教職員）や家庭、地域の皆さまと手を携えて、子どもはもとより、先生たちも保護者や地域の皆さまも学校が楽しいと思えるような取り組みを進めていきたいと思っています。

子どもたちにとって、学校は「いろいろなことを学ぶ楽しさを教えてくれるところ」だと思っています。本市では、少しずつ知識が増えていく喜びや、先生、友だち、先輩、後輩など、自分以外の人たちの関わりを学ぶ場所、それらを含めて「今日1日が楽しかった」と感じさせてくれる、そのような学校を目指したいと考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大で日本中が学校の大切さに気付かされました。加えて、ICTや情報通信手段の目まぐるしい発展で学校現場に大きな風が吹



子どもたちが「楽しい」と思える学校を目指して



佐世保市教育委員会

教育長 西本 真也

「ただいま。お腹減った。何かない？」
娘が小学校から帰ってきた。
「お帰りなさい。どうだった、今日ほ？」
「楽しかったよ。あのね、あのね…」
おやつを頼張りながら学校のことをたっぷり話してくれる…。



スマート・スクール・SASEBO 構想

～次世代を担う子どもたちの学びが変わります～

「スマート・スクール・SASEBO 構想」とは、ICT を効果的に活用し、子どもたちが未来を切り開くために必要な創造性や社会性といった「生き抜く力」を身に付けることを目的とした、教育現場での新たな取り組みです。

スマート・スクール・SASEBO 構想が目指す姿

児童生徒一人一人に整備したパソコンや通信環境などを効果的に活用し、時間や距離にとらわれない学習を行います。また、個人の学びの進捗や理解度に応じて内容を主体的に選択できる学習など、子どもたちが新しい環境の中で「自ら学んでいく学習」を充実していきます。

スマート・スクール・SASEBO 構想を実現するための環境整備

効果的に学ぶための環境整備

- 児童生徒一人一人にパソコンの配付**
子どもたちが使用することを想定し、丈夫で使いやすいパソコンを配付しています。
- インターネット通信 (LTE 通信) の整備**
「いつでも」「どこでも」学習できる通信環境 (LTE 通信) を整備することで、家庭学習や長期休業中の活用はもちろん、臨時休業時の学びを保障します。
- 児童生徒一人一人にアカウントの配付**
インターネット上で提供されている教育向けクラウドサービスを利用するためのアカウント (サービスを利用する権利) を配付しています。学習支援ソフトの使用やファイルの保存など、家庭学習にも利用できます。

安全安心に学ぶための環境整備

- モラル教育の充実**
道徳教育と関連付けながら、情報社会における正しい判断力や望ましい態度、危険を回避する方法など、情報モラルに関する指導を充実します。また、教職員のセキュリティに対する意識向上を図る研修なども実施します。
- 情報セキュリティ対策**
有害サイトへのアクセスをブロックしたり、パソコンの紛失等による情報漏えいを防ぐためクラウド上でデータを管理したりするなど、トラブルを防ぐために必要な情報セキュリティ対策を実施します。

個別に最適化された 学びの実現

オンラインで利用できる学習支援ソフトなどを活用し、一人一人の学びの進捗や理解に合わせた学習支援を行います。



学びにおける 制約からの解放

一人一台パソコンや通信環境、クラウドサービスを活用することで、時間や距離の制約をなくし、「いつでも」「どこでも」学習できるようにします。



新しい時代を 生き抜く力の育成

ICT の効果的な活用やグループ学習との組み合わせなどによって、主体的・対話的に学べる環境を整え、新しい時代を生き抜く力を育成します。



中里中学校・3年
黒木 結萌さん

今までは教科ごとに問題集が必要でしたが、パソコンにたくさん問題集が入っているので、とても便利になりました。



中里中学校・3年
山口 愛花さん

繰り返し問題を解くことができ、分からないところは解説してくれるので、以前より理解が深まりました。



中里小学校・5年
弟子丸 莉奈さん

自分のパソコンを使って、自分のペースで勉強を進めていくことができます。



中里小学校・5年
坂口 滉さん

問題を解くとすぐに答え合わせができるし、分からないところはヒントを出してくれるので、分かりやすいです。

パソコンの導入によって、子どもたちの勉強に対する関心や意欲が高まり、授業中の集中力も増しているように感じます。手書きの良さも大切にしながら、バランスの取れた授業を進めていきたいので、私たち教員も「スマート・スクール・SASEBO 構想が目指す姿」の実現に向けて工夫を重ねていきたいです。



中里中学校
野中 佑樹先生

パソコンを使った授業が始まって間もないということもあり、子どもたちが迷わないように、シンプルで分かりやすい授業を心掛けています。学びの進捗や理解状況を教員用のパソコンから確認できるため、時間を有効に活用できるメリットを生かしながら、子どもたちの意欲を高めていけるようにサポートしていきたいです。

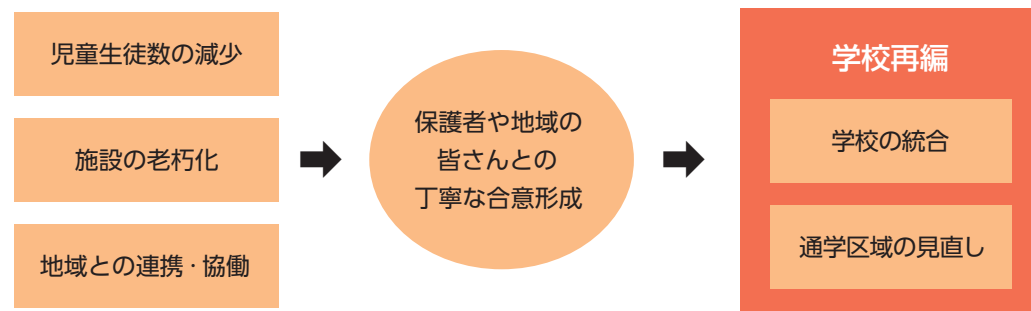


中里小学校
岡村 康典先生



先生と児童生徒に
感想を聞いてみました！

保護者や地域の皆さんと共に「学校再編」を進めていきます



本市では、児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進む中、多くの学校で施設の老朽化も進んでおり、建て替えなどの更新時期を迎えています。一方で、地域の核としての性格を持つことが多い学校は、地域との連携や協働という観点から、近年その役割がますます重要になってきています。

このような状況を踏まえ、本市では保護者や地域の皆さんと共に学校再編を進めていくこととしています。これから約20年後の市立小・中学校などの姿を見据えながら、子どもたちの教育環境を整えることで望ましい学校教育の実現を支えるため、学校再編に取り組んでいきます。

学校再編の方針

- ① 保護者や地域の皆さんとの丁寧な合意形成に努めます
- ② 今後の児童生徒数に対応する「学校規模の適正化」「学校の適正配置」を目指し、学校再編(学校の統合・通学区域の見直し)に取り組みます
- ③ 老朽化対策の必要性が高い学校から優先的に建て替えなどの検討を進めていきます
- ④ 学校と地域の連携に配慮しながら、学校の統合や通学区域(校区)の見直しなどを行います

学校再編に関する Q & A

- Q** 「指導の目が行き届く」「一人一人の活躍の場が増える」など、小規模校の良さもあるのではないですか？
- A** 学校規模の考え方として、小規模校の良さを否定するものではありません。学校規模の見直しによってクラス替えができたり、人間関係が広がったりすることで、集団生活の中で社会性が育まれるとともに、充実した学校生活が送れるようになることを期待しています。
- Q** 私たちが卒業した学校や、地域で愛着のある学校がなくなってしまうのですか？
- A** 本市では、今後も児童生徒数の減少が見込まれています。地域に学校を残すため、学校を配置する場所や9年間を見通した一貫教育を行う「義務教育学校」への統合などを検討しています。
- Q** 他の学校と統合すると学校が遠くなり、子どもたちの通学が大変になってしまうのではないですか？
- A** 学校再編で通学距離が遠くなる地域については、路線バスなどを利用することで子どもたちの負担を減らし、安全に登校できるように検討を進めていきます。
- Q** 学校再編によってどのような学校づくりを目指しているのですか？
- A** 今後さらなる小規模化が見込まれる学校に活力を注いでいくとともに、老朽化した学校施設の安全性と快適性を向上させていきます。また、学校と地域の連携を強めることで、将来の子どもたちのための新しい学校環境づくりを目指していきます。

「サテライトあすなる教室」「ネットあすなる教室」を新たに開設

青少年教育センターでは、さまざまな理由で学校に行くことができない児童生徒などに寄り添いながら支援を行う「あすなる教室」や、いじめや学校のことで悩んでいる子どもたちなどの相談に応じる窓口を開設しています。皆さんにより身近に利用していただけるよう、本年4月から「サテライトあすなる教室」などの取り組みも始めています。

あすなる教室(学校適応指導教室)

あすなる教室では、対象の児童生徒が教室に通う人たちと関わりを持ちながら、学習や小集団行動を通じて、少しずつ自信を付け、学校に登校することや社会的に自立することを目指しています。同教室では、普段の学習やスポーツ活動に加え、調理実習やお花教室なども行いながら、子どもたちのサポートを行います。

対象
心理的・情緒的原因などによって長期間欠席している市内在住の小・中学校児童生徒など

申し込み
電話で青少年教育センターへ
※公共交通機関を利用する場合、通学費の補助が受けられる場合があります。

サテライトあすなる教室

住まいが遠く、あすなる教室を利用できない児童生徒や保護者からの要望に応じて、最寄りのコミュニティセンターなどを利用して新たな居場所「サテライトあすなる教室」を開設します。利用するためには予約が必要です。
※詳しくは青少年教育センターにお尋ねください。



ネットあすなる教室

インターネットを通して、あすなる教室を利用する児童生徒と、あすなる教室や学校とのコミュニケーションを図る「ネットあすなる教室」を実施します。「スマート・スクール・SASEBO 構想」で整備されたパソコンや通信環境を利用して、学校や社会とつながる環境を作っていきます。



学校や家庭での悩み相談窓口「青少年教育センター」

いじめや学校のことで悩んでいる子どもたちや、子どもの不登校や家庭環境などで悩んでいる保護者の皆さんのために、相談窓口を開設しています。相談担当職員やスクールソーシャルワーカーが対応しますので、気軽にご相談ください。
※相談内容などの個人情報は秘密厳守します。

開所日時 月曜～金曜(祝日、年末年始を除く)
※8時30分～17時15分。

場 所 青少年教育センター(平瀬町3-1)

相談方法

- 青少年教育センターでの相談
事前に同センター(☎22-0781)へ連絡してください
- 電話での相談
電話相談窓口(☎22-0077)へ連絡してください
- Eメールでの相談
Eメール(ainomail@city.sasebo.lg.jp)で随時受け付けます。返信は開所時間に行います